

平成 30 年度 山形のみちづくり評議会(第3回) 議事要旨

1. 日時

平成 30 年 12 月 26 日（水）13：00～15：00

2. 出席委員

柴田会長、貝山委員、塩原委員、津藤委員、宮原委員、小山委員、皆川委員、和田委員、
角湯委員 9 名

3. 議事

- (1) 「山形県道路中期計画 2028」の原案について

4. 議事概要

- (1) 「山形県道路中期計画 2028」の原案について

- 評議会、市町村、県議会からの意見と対応について説明し、了解を得た。
- 新たに追加した各地域のみちづくりビジョンについて説明し、意見を伺った。

5. 「道路中期計画 2028（原案）」に対する主な意見

- (1) 道路中期計画のテーマについて

- これからのみちづくりでは、防災やまちづくりなどの面で関係部局、団体、地域と連携して地域課題の解決を図る必要がある。
- 山形県のみちの将来像（テーマ）として事務局が提案した「ヒト・モノの交流を促進し山形の未来へつなぐみちづくり」については、これまでの意見が包括されている。（パブリック・コメントを実施し、意見を踏まえて次回決定。）

- (2) 地域のみちづくりビジョンについて

- あいまいな表現は避け、高速道路ネットワークの整備状況などを踏まえ、今後 10 年間で取り組むみちづくりの大きな方向性を表すフレーズとなるように再検討。（後日修正案を提示し、パブリック・コメントを実施することについて了解。）
- 酒田港を重要な貿易港として活かすため、酒田新庄道路のほか石巻新庄道路の整備が必要である。宮城県との連携とともに、山形県の重要性について積極的に発信すべきである。